

高ふは御座り升れども憚なから三津五郎殿

相頼升て申上ケれられ升たる通り私師匠市川

團藏七ヶ年以前十月九日病死仕升て右年回の

追善三津五郎殿始一座の衆又は当座市川

團之助殿も親共年回追善狂言相勤升れは

当座に置升ても門弟の私追善を相勤升いと

ひたすら相すゝめられ升れ共元より未熟ふ調法

なる私おこがましよう何をこうと致し前々へ升たる殊も

御座り升ねば達て辞退仕升たなれ共師匠の年回

とりあえず八陣守護城正清の役師匠團藏身まかり升

せつ大坂表にて相つとめよふやく五日のわづらひにて故人成升たか

当座は舞臺の名残私へはかたみに致し升たる狂言師匠の姿■と

のみ思われ升てふ調法にふ調法を重ね升たる私只々師匠の追善と

御一道人の御回向をすみからすみまで

ひとへに希上升ル

佐藤肥田守正清

市川市藏